

「これからの社会と未来のために」
私たちの生活において税金はとても大切な
ものだと思います。なぜなら毎日歩いて登校
している道も、学んでいる学校という場所も
私たちの安全を守ってくれている信号機や警
察・消防などの日々、目にしていく物や利
用している物のほとんどに税金が使われてい
るからです。
しかし、これからの日本の未来のためには
今の税金の使い方を見直すことも必要ではな
いかと思います。そして国の活性化のためた
けでなく、もつと病気で苦しんでいる人々や
災害で被害に遭い、今もなお元通りの生活に
戻れていない方々への支援などに使うべきだ
と思います。私はまだ社会人ではないので、
給料から税金が引かれるなどという大人が苦
労していることは経験していません。たお
ません。確かに、一生懸命働いてもらっ
たお金から税金を引かれることは嫌だと感じる人
もいるかもしれませんが、私も最初は、商品

を買う時にどうして消費税がかかるのか理解
することができませんでした。でも理解でき
なかったのには二つ理由があつたと思います
一つ目は税金の使い方についてあまり知らな
かつたこと、二つ目は自分達が健康で幸せに
暮らすことができていることです。私は生ま
れつき顔にあざがあり、これまで二〇回以上
の手術を行つてきましたが治ることはありません
でした。でも私は命に関わる病気ではあ
りません。今もあとどれくらい生きること
ができるのかも分からず、毎日不安を抱えてい
る人や、体に障害があり将来に不安を持つ人
が日本にはたくさんいます。今この瞬間にも
苦しんでいる人がいるかもしれません。でも
私には助けることができません。^{将来が}医療の
発達すれば救われる人はたくさんいます。テ
ーマパークやカジノなどの国を活性化するた
めの施設を作ることにも大切だと思えますが、
誰もが幸せだと思える未来を作るためにも被
災された方々への支援や医療発展のための支

金、医療費の負担額を増やしてほしくないです。でもこう思ったのはこれまでにそんな苦勞を経験してきたからだと思います。私は手術をして飲食を禁止され、一日中ベッドの上で過ごし、している時にいつも思うことがあります。それは普段当たり前に行っていることがどれだけ幸せだったかということです。足で歩いて、いること、言葉が話せていること、動けて、いること、ご飯を食べられていること、その全てが当たり前ではないということをもっとたくさんの人に感じてほしいと私は思います。だから、税のことについて学ぶ時間を学校などで増やし、税の使い道をよく知って自分の幸せさに気づくことで困っている人や苦しんでいる人に協力したいという気持ちになつてほしいです。そして公共サービスを受けること、公共施設を利用できることなど、日々の生活を当たり前だと思わずに過ごしていくことがこれからの明るい未来へと繋がっていくのではないのでしょうか。

20 × 20